

# はれ!

ときどき  
ときどき

## その② \* さとうひろこ \*

さんぽ

五月のぼかぼかあたたかい日、三歳の子どもたちと幼稚園の庭に散歩に出た。外に出たかったのは私で、子どもたちは初め、それほど乗り気ではなかったのかもしれない。

連休が明けて、少しだけ幼稚園の生活が分かりかけてきたものの、まだ自分の意思でここに來ているわけではないようで、この日も、クラスの半分くらいの子どもたちが、私の周りに必死にしがみついていた。

みなさんでお団子みたいになりながら、靴を履き替えて外に出る。お団子からはみだしたF夫は、ずしっと重いカセットデッキを両腕で抱え、私たちの前を歩いている。彼の持つカセットデッキからは、みんなの大好きなトトロの「さんぽ」が流れてきた。

♪あるこーうあるこーう、わたしはげんきいー♪

お団子のまま、歌いながら歩き出す。あんまり元気がなかったお団子のひとりが、すーっと離れてF夫の後ろに並んで歩いた。

(よかったー。少し元気が出てきたみたい……)

♪さかみちートンネルうーくさあつぱらー♪

庭のトンネルを抜ける頃、突然F夫が声をあげた。

「(トトロと) おんなじだー!」

お団子はほぐれて、私のからだは、ふわっと軽くなった。広いお山のでっぺんに着くと、ほぐれたお団子たちが走り出した。

ぼかぼかやわらかい日差

しの中、幼稚園のお山に、たくさんのトトロ。もう会えないと思っていたかわいい妖精たちに、この日私は再会できた。(幼稚園勤務)

